# 地域生活支援課からのお知らせ

## ～患者様とご家族の方へ～

外来受診や入院相談に関しては、
地域生活支援課のソーシャルワーカーが対応します。
ささいな事でも構いませんので、お気軽にご相談ください。

## ～医療機関および施設の方へ～

地域医療連携の窓口として
「地域生活支援課」が、お話をうかがいますので、
ぜひご利用ください。

私たち地域生活支援課は、３年前から訪問看護により、
「より良い地域生活のお手伝いにむけたサポート」を行なっています。
さらに、ゆずクリニック（鍛冶屋町銀嶺ビル3F）でも、
常勤のソーシャルワーカーが訪問看護を行なっていますので
あわせてよろしくお願いします。

受付時間：8:50～17:10　電話 095-878-3734（代表）ファクス095-878-3289（代表）

杜葉病院は、大正13年に創設された精神科の医療機関です。
長崎市南部の緑豊かな環境の中、地域に根差した医療を心がけています。
職員一同、「患者様本位の医療と看護」の理念に基づいた人間的温かみのある医療サービスの提供に努めます。

**診療科目**　精神科・心療内科・内科・歯科・歯科口腔外科・矯正歯科

**病床数**　355床　**駐車場**　約100台

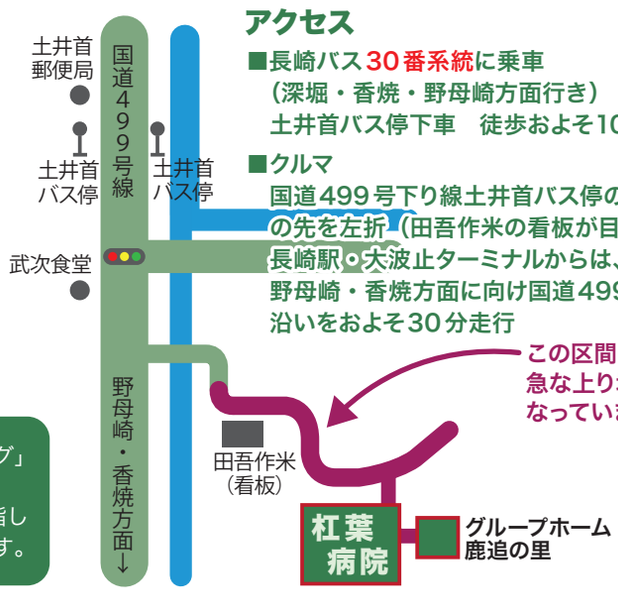
〒850-0975 長崎県長崎市三和町413番地

**電話　095-878-3734**
**ファクス　095-878-3289**

杜葉病院　検索　http://www.yuzuriha.or.jp/

**編集後記**

みなさまの温かいご支援により、「のびのびリング」も創刊一周年を無事に迎えることができました。
これからも、分かりやすく親しまれる広報誌を目指して努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。




**アクセス**

■長崎バス30番系統に乗車
（深堀・香焼・野母崎方面行き）
土井首バス停下車　徒歩およそ10分

■クルマ
国道499号下り線土井首バス停の次の信号の先を左折（田吾作米の看板が目印）
長崎駅・大波止ターミナルからは、野母崎・香焼方面に向け国道499号線沿いをおよそ30分走行

この区間は急な上り坂になっています

当院へ徒歩でお越しの際は、坂の登り口より電話（095-878-3734）していただければ、坂の下までお迎えに参りますので遠慮なくご利用ください。（土日祝は除きます）

医療法人協治会 杠葉病院

# のびのびリング

2014 春
第4号
創刊一周年

http://www.yuzuriha.or.jp/　編集発行：医療法人協治会　杠葉病院　☎095-878-3734

病院の近くで見つけた満開の桜に感動して 思わず画面いっぱいに桜の花を撮影しました

## 病院理念

**患者様本位の医療と看護**

**基本方針**

一、人間としての尊厳と生活の質を重視した全人的なケアの提供
二、地域社会との連携を目指した医療・看護サービスの提供
三、職員の専門知識の向上による医療・看護の充実

# 地域生活支援課のご紹介

## 地域生活支援課に新しく生まれ変わりました！

私たち、地域生活支援課は今年2月よりさらに充実した相談業務や退院支援を含めた地域移行等を行うためため、地域生活支援室より新しく生まれ変わりました。

若さ漲る(!?)精神保健福祉士8人(内、ゆずクリニック1人)が繰り広げるケースワークは専門性をフルに発揮するため、常に奔走しております。

当事者の方たちには「その人らしい生活を送ってほしい！」という一心で、関連機関との連携が必要な場合には積極的に地域へ出向き、制度や資源などの情報はホットなものを提供できるよう心がけております。

地域生活支援課の皆さん（前列中央が冨永課長）

生活の場で生じた「困難」は我々精神保健福祉士が他部署や関連機関と連携しながら解決に向かう手段を共に考えます。(冨永照代)

**治療に関すること、家族に関する悩み、経済的な悩み、就労・復職に関する悩みなど…、まずは、地域生活支援課にご相談ください。**

# 病棟を、ご紹介します！

### 第3回 A-3病棟（精神科療養病棟）

「病棟紹介」の3回目です。今回は「精神科療養病棟」であるA-3病棟を紹介します。今後4～5回目は「精神療養病棟」、最終回は「認知症治療病棟」の順に紹介していきます。

## 患者様の療養生活を支援しています

A-3病棟は男女混合精神療養病棟です。慢性期の精神疾患患者様のほか、日常生活に援助を必要とする多くの患者様が長期にわたる療養生活を送られています。病棟は、看護師6人・准看護師4人・介護士10人で構成されています。私たち看護師は、医師やソーシャルワーカーとともに、患者様の退院や地域での円滑な生活を目指し、療養生活を支援しています。

A-3病棟スタッフの皆さん

近年、患者様の高齢化に伴い、転倒・転落事故の増加や重症化などが問題となっています。これらの事故を防止するため、病棟スタッフや作業療法士などが連携して患者様の歩行訓練や後進歩行などに取り組んでいます。また、誤嚥および誤嚥に伴う肺炎を予防するよう、介護士とともに口腔ケアへの取り組みにも力を入れています。患者様ひとり一人がより良い日常生活を送れるようスタッフ一同、頑張っています。(水口和洋)

A-3病棟
**水口和洋 師長**

academic meeting Report

# 学会報告

## 薬剤部から

# The 2nd Asian Congress on ADHD in 東京

薬剤部：米澤 健

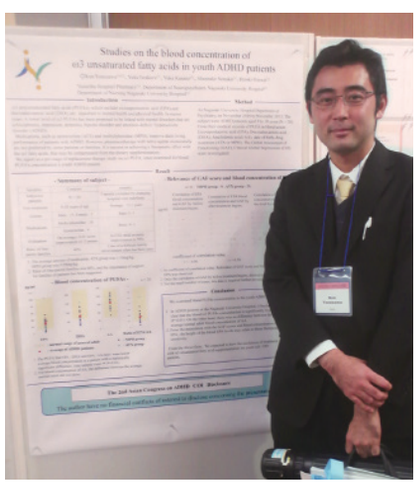
### “Studies on the blood concentration of ω3 unsaturated fatty acids in youth ADHD patients“

3月8日と9日、東京都の日本医科大学病院で開催された “The 2nd Asian Congress on ADHD” に出席し、ポスターの示説を行いました。内容は、長崎大学精神科の小澤教授との共同研究として、表題にあるω3系不飽和脂肪酸と精神科疾患発症との関係性について検討したものです。このω3系不飽和脂肪酸とは近年注目を集めている油脂成分のことです。

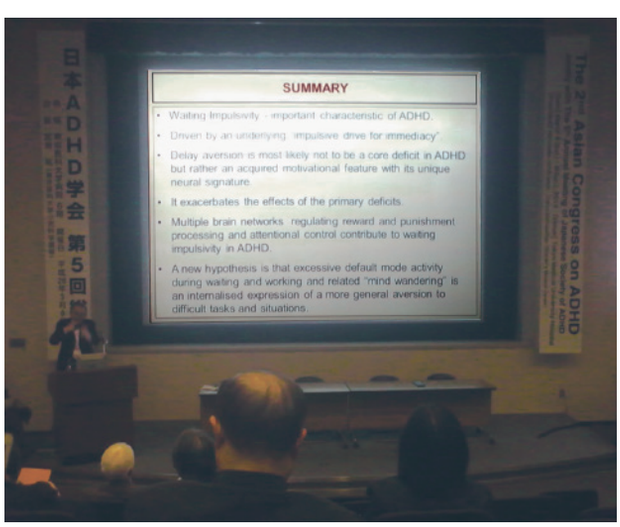
若年のADHD患者様において、血液中に含まれる成分の一種であるω3系不飽和脂肪酸の濃度が、一般の方と比較して、どのような傾向にあるのかを解析・評価しました。結果は、健常な成人と比較して、若年のADHD患者様においては統計的に意義のある水準で血液中のω3系不飽和脂肪酸濃度が低いことが分かりました。さらに、治療経過が良好な患者様ほどω3系不飽和脂肪酸濃度の高い傾向が見られました。

ω3系不飽和脂肪酸は魚介類に多く含まれる油脂であることから、摂取にあたっては、一般的な精神神経系薬剤よりも心理的な抵抗感が少ないことが予想されます。また、栄養学的観点あるいは予防医学的な観点からも一定の効果が期待できることから、その有用性について今後も研究を重ねていきたいと考えています。

なお、本学会での質疑は全て英語で行うことから、英語力に乏しい私は大変不安を感じておりましたが、どうにか無事に質疑対応を終えることができました。また、発表後の質疑応答を通じて本テーマに関する世界的な関心度の高さを再認識できたことも収穫です。最先端の医学的知識を患者様に提供する上で、これからは英語力の向上が欠かせないことも改めて痛感しました。




発表パネルを前に
米澤薬剤師




研究発表会場のようす

### ω3系不飽和脂肪酸について

ω3系不飽和脂肪酸は青魚を中心とした魚介類に多く含まれる油分で、DHA（ドコサヘキサエン酸）やEPA（エイコタペンタエン酸）が良く知られています。一般的な植物油に多く含まれるリノール酸やアラキドン酸などの油分は、ω6系不飽和脂肪酸と呼ばれています。

これらの油分は、基本的には、体内で合成できない必須脂肪酸として食事により体内に取り込む必要がありますが、近年では、魚の消費量が少なくなる一方、揚げ物などの消費が増えつつあることから、このω3系とω6系の摂取バランスの崩れが、鬱や気分障害などの精神科疾患の世界的増加傾向と関連があるのではないかと注目を集めています。

## 学会で発表された内容です

# Studies on the blood concentration of ω3 unsaturated fatty acids in youth ADHD patients

Ken Yonezawa(1)(2)、Yuka Iwakura(2)、Yuka Kusano(3)、Shunsuke Nonaka(2)、Hiroki Ozawa(2)

Yuzuriha Hospital Pharmacy(1), Department of Neuropsychiatry Nagasaki University Hospital(2)
Department of Nursing Nagasaki University Hospital(3)

## Introduction

ω3 polyunsaturated fatty acids (PUFAs), which include eicosapentaenoic acid (EPA) and docosahexaenoic acid (DHA) are important to mental health and physical health. In recent years, a lower level of ω3 PUFAs has been thougt to be linked with mental disorders that are schizophrenia, depression, dementia, bipolar disorder and attention-deficit / hyperactivity disorder (ADHD).

Medications, such as atomoxetine (ATX) and methylphenidate (MPH), improve daily living performance of patients with ADHD. However, pharmacotherapy with nerve agents occasionally are not preferred by some patients or families. If a success in achieving a therapeutic effect with the ω3 fatty acids, that may be compensated from the dietary supplementation.

We report as a pre-stage of replacement therapy study on ω3 PUFA, through examination of blood PUFA's concentration in youth ADHD patients.

## Method

At Nagasaki University Hospital Department of Psychiatry, from November 2010 to November 2013, the subjects were ADHD patients aged 9 to 18 years (N = 20). From their medical records of PUFA in blood serum Eicosapentaenoic acid (EPA), Docosahexaenoic acid (DHA), Arachidonic acid (AA), with date of birth, drug treatment (ATX or MPH), the Global Assessment of Functioning (GAF), Clinical Global Impressions (CGI) was investigated.

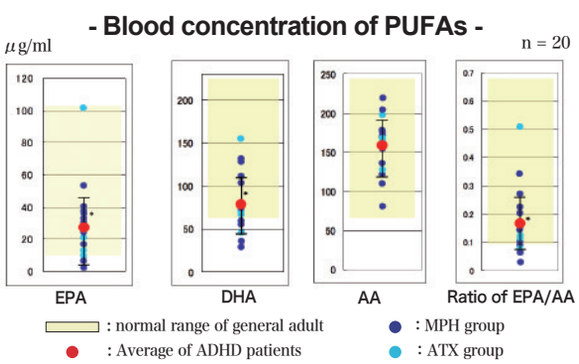
## Result

### -Summary of subject-

| Variables | Contents | remarks |
|---|---|---|
| Subjected patients | N = 20 | 5 people excluded by changing hospital |
| First treatment | 9-18 years of age | Average : 13.1 years |
| Gender | Male : 15, Female : 5 | Ratio 3: 1 |
| Medications | Methylphenidate : 16 | Ratio 4: 1 |
| | Atomoxetine : 4 | |
| Evaluation | On average, GAF score improvement of 15 points | In CGI, mild or more improvement in 70% |
| Ratio of Single-parent families | 40% | Case of a difficult family environment often has been seen |

1. The average amount of medication, ATX group was 1.10mg/kg, MPH group was 0.58mg/kg.
2. Ratio of Single-parent families was 40%, and the importance of support for families of patients has been suggested.

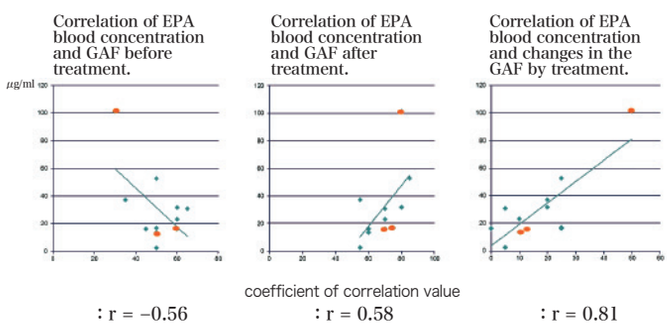
### - Blood concentration of PUFAs -




1. The blood concentration of PUFAs, namely, EPA, DHA and EPA/AA ratio in youth ADHD patients have been revealed to be statistically lower in comparison with normal adults.(one sample t-test *:P<0.01)
2. For blood concentration of AA, the difference between the average normal adult and the average of ADHD patients was not observed.

### - Relevance of GAF score and blood concentration of EPA-

n=11 (MPH group : 8 , ATX group : 3)




1. In coefficient of correlation value, relevance of GAF score and blood concentration of EPA were observed.
2. Only the correlation of GAF before treatment, showed inverse correlation.
3. Due to the small number of cases, this data requires further investigation.

## Conclusion

We examined blood PUFAs concentration in the youth ADHD patients.

1. In ADHD patients at the Nagasaki University Hospital, it has been clear that the blood ω3 PUFAs concentration is significantly lower (P<0.01) . On the other hand, there was no difference between the average normal adult blood concentration of AA.
2. From the association with the GAF scores and blood concentration of EPA , the amount of the blood EPA levels may relate to these therapeutic sensitivity.

From the above facts, we expect the treatment with ω3 unsaturated fatty acid supplementation on youth AD / HD patients to be useful.

The 2nd Asian Congress on ADHD　COI　Disclosure

The author have no financial conflicts of interest to disclose concerning the presentation.

# 訪問看護のご案内

## 患者様がより良い在宅生活を送っていただくための取り組み

訪問看護では、退院直後の患者様や外来通院の方々が、通院しながら、住み慣れた家庭や地域の中で安定した生活を送っていただけるようお手伝いをしています。

**たとえば…**

- **病気や薬についてわからないことがある。**
- **薬を飲むのが苦手だ。忘れることも多い。**
- **外来通院が途切れがちになってしまう。**
- **お金の管理や、外出して買い物をすることが困難になってきた。**
- **生活が不規則になりがち。**
- **家族関係・友人関係・職場関係が上手くいかない。**
- **ご家族が患者様にどのように接してよいのか困っている。**
- **相談に乗ってくれる人が身近にいない。**
- **話し相手が欲しい、などなど。**

当院の看護師・ソーシャルワーカー・作業療法士等がご自宅にお伺いし、患者様がより良い在宅生活を送れるよう、日常生活上の相談・支援を行います。

**※訪問時は、私服を着用します。**

**※病状や諸事情により、ご希望に添えない場合もございますのであらかじめご了承ください。**

# 院内のイベント 恒例の「第９回 ゆず祭」のお知らせ

今年もゆず祭りが開催されます。多数の模擬店も出店されます。ステージでバンド演奏や抽選会など楽しいイベントが盛りだくさんです。
多数の皆様のご参加を心よりお待ちしています。

**日時：平成２６年５月１７日(土)**
**10：00～15：30頃まで**
**場所：杠葉病院グラウンド**
**（雨天時は院内Ｂ棟ホール１階）**

地元ミュージシャンによるミニコンサート

昨年は沖縄の伝統芸能「エイサー」で盛り上がりました